TP40 Printer (Ammonite)

The Printer for Inspector series

Operator's Guide

Manual
Rellease Version: 1.0
070705

MUNAZO Co.,LTD.
〒658-0032神戸市東灘区向洋町中
6-9 KOBE FM
Phone (078) 857-5447
Fax (078) 857-5443
Web Site:http://munazo.jp
E-mail : munazo@munzo.jp

製品保証についてのお願い

本製品につきまして、以下内容の製品保証を行っています。

保証期間と保証範囲

［保証期間］納入品の保証期間は、同梱された保証書内容の期間と致します。

［保証範囲］保証期間中に故障を生じた場合は、その機器交換、又は修理を以下の原因に該当する場合を除き、納入側の責において行います。

●故障原因が設置環境下における機器特性の変化による。
●故障原因が使用者側の不適当な取扱いならびに使用による。
●故障原因が納入品以外の事由による。
●故障原因がその他、天災・災害などで納入者側の責にあらざる場合。

但し、ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害の保証一切はご容赦いただきます。

MUNAZO Co.,LTD.

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中6-9
KOBE FM 8F
Phone (078) 857-5447
Fax (078) 857-5443
Web Site : http:// munazo.jp
E-mail : munazo@munazo.jp

① 本書の内容に関しては将来予告無しに変更することがあります。
② 本書内において万一ご不審な点、誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたらご連絡下さい。
③ 運用した結果の影響について②項にかかわらず一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。

バーコード検査機／検証機を正しくお使いいただくために

バーコード検査／検証機等は、光学／精密電子機器ですのでお取り扱いには十分なご注意が必要です。下記内容のご注意点の遵守をお願いいたします。

ご注意点

- 熱の発生源の近く、直射日光の当る場所、電磁界、腐食ガスの環境、埃の多い所、使用周囲温度（0～40℃）／使用周囲湿度（30～80%）を越える場所に設置しないでください。
- 本体を持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにして下さい。
- 振動や衝撃の加わる場所での設置はしないで下さい。また、本体や電源コード等の上に物を載せないで下さい。故障による火災・感電の原因となります。
- 排熱のための通風口をふさがないで下さい。故障による火災の原因となります。
- 水場付近では使用しないで下さい。
- 絶対に分解したり修理・改造しないでください。火災や感電の原因となります。
  また、分解された場合には保証期間中であっても無償保証の対象外となります。
- 電源及び通信プラグを抜くときはコードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
- 付属の電源及び通信コード以外は使用しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- 本体から何かこげるような匂いがしたり、異様な音がしたときは直に電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
- **機器に影響を与える恐れのある電磁波等を発生し易い装置のそばには設置しないで下さい。**

設置回避場所

- AC200V 以上のスイッチングを行う配電盤の周辺3m以内。
- 配線 AC200V ケーブル（完全シールドされていない）設置周辺3m以内。
- 配線 AC200V ケーブル（完全シールドされた）の切替部、例えばスイッチ BOX 等のケーブル軸の一部が露出した場所の周辺3m以内。
- 印刷機、エアコンその他 AC200V 以上の電源で動作する制御装置周辺3m以内。

- 雷が近いときはすみやかに電源を OFF にし電源コードをコンセントから抜いて下さい。
- 長時間使用しないときは、電池を OFF にし電源プラグはコンセントから抜いて下さい。漏電、火災の原因となります。
- プリンター感熱記録紙の保管は、乾燥した冷暗所に保存してください。

RJS　MUNAZO バーコード検査機／検証機等

インスペクターシリーズ
インスペクター専用プリンタ
オートスキャン2シリーズ
オートスキャン2専用ライトボックス、専用プリンタ
SV シリーズ
HT630LVF

安全上のご注意（必ずお守りください）

この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

⚠ 警告	この表示は、取扱を誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取扱を誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

⚠	△ 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 （左の表示例は「警告または注意事項」があることを表しています）
⃠	⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 （左の表示例は「分解禁止」を表しています）
	● 記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。 （左の表示例は「電源プラグをコンセントから抜く」ことを表しています）

⚠ 警告

⃠	**強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。** 故障、火災の原因になります。
⃠	**湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。** 感電の原因となります。
⃠	**引火、爆発の恐れがある場所では使用しないでください。** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因になります。
⃠	**濡らさないでください。** 液体が中に入ると発熱・感電・故障などの原因となります。
●	**雷が鳴りだしたら、触れないでください。** 落雷・感電の原因となります。
⃠	**使用中、保管時に、異臭・発熱・変色・変形など今までと異なるときは、使用しないでください。** 発熱・破裂・発火させる原因となります
⃠	**分解・改造をしないでください。また、直接ハンダ付けをしないでください。** 感電・火災・故障の原因となります。
●	**電源は国内の家庭用 AC100V コンセントを使用してください。** 誤った電源で使用すると火災や故障の原因となります。
⃠	**充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。** ショートによる火災や故障の原因となります。
●	**万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。** 感電・発煙・火災の原因となります。
●	**電源プラグに付いたほこりは拭きとってください。** 火災の原因となります。
●	**長時間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。** 感電・火災・故障の原因となります。
⃠	**濡れた手で電源プラグ、コンセントに触れないでください。** 感電の原因となります。
⃠	**火の中に投下しないでください。** 漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

⚠ 警告

●	**AC アダプタは正しくお使いください。** 発熱、発火などによる火災、故障、感電、傷害の原因となります。
●	**充電中は、充電機器を安定した場所に置いてください。また充電機器を布や毛布でおおったり、包んだりしないでください。** 本体が外れたり、熱がこもり、火災・故障の原因となります。
⃠	**コンセントにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。** 火災・故障・感電・傷害の原因となります。
●	**電池ﾊﾟｯｸ内部の液が目の中に入った場合は、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。** 失明の原因となります。
●	**電池パック内の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。** 皮膚に傷害をおこす原因となります。
⃠	**電源コードが傷んだら使用しないで下さい。** 感電・発熱・火災の原因となります。
●	**漏液したり異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。** 漏液した液体に引火し、発火・破裂の原因となります。

⚠ 注意

⃠	**電源コードを傷つけないでください。** 火災や感電の原因となります。 • 電源コードを加工したり、傷つけたりしないでください • 上に重いものを乗せたり、引っ張ったりしないでください • 必ずアダプタ本体を持ってコンセントから抜いてください
⃠	**お手入れの際は、コンセントから電源プラグを抜いて行ってください。** 感電の原因となります。
●	**湿気やほこりの多い場所や高温となる場所には、保管しないでください。** 故障の原因となります。
⃠	**ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。** 落下して、故障やけがの原因となります。
⃠	**直射日光の強い場所や炎天下の車内など高温の場所で使用、放置しないでください。** 変形・故障の元となります。またやけどの原因となることもあります。
⃠	**濡れた電池パックを充電しないでください。** 発熱・発火・破裂の原因となります。

目次

1. 概要 1
1.1 はじめに 1
1.2 製品の取り出し及び点検 1
1.3 外観及び各部名称 2
1.4 仕様 3
2. ご使用前の注意事項 4
3. 操作方法 5
ステップ1 5
ステップ2 6
ステップ3 6
ステップ4 8

1. 概要

1．1 はじめに

TP４０Ammonite ﾌﾟﾘﾝﾀｰを購入いただき誠にありがとうございます。この説明書は TP４０Ammonite ﾌﾟﾘﾝﾀｰの性能を維持していただく為の内容です。必ずご使用前にお読みください。

1．2 製品の取り出し及び点検

ﾌﾟﾘﾝﾀｰは慎重に梱包ケースから取り出して下さい。梱包ケースに破損が見られる場合、運送中に何らかの障害が発生した可能性があります。運送状控えなどを保管しておいてください。

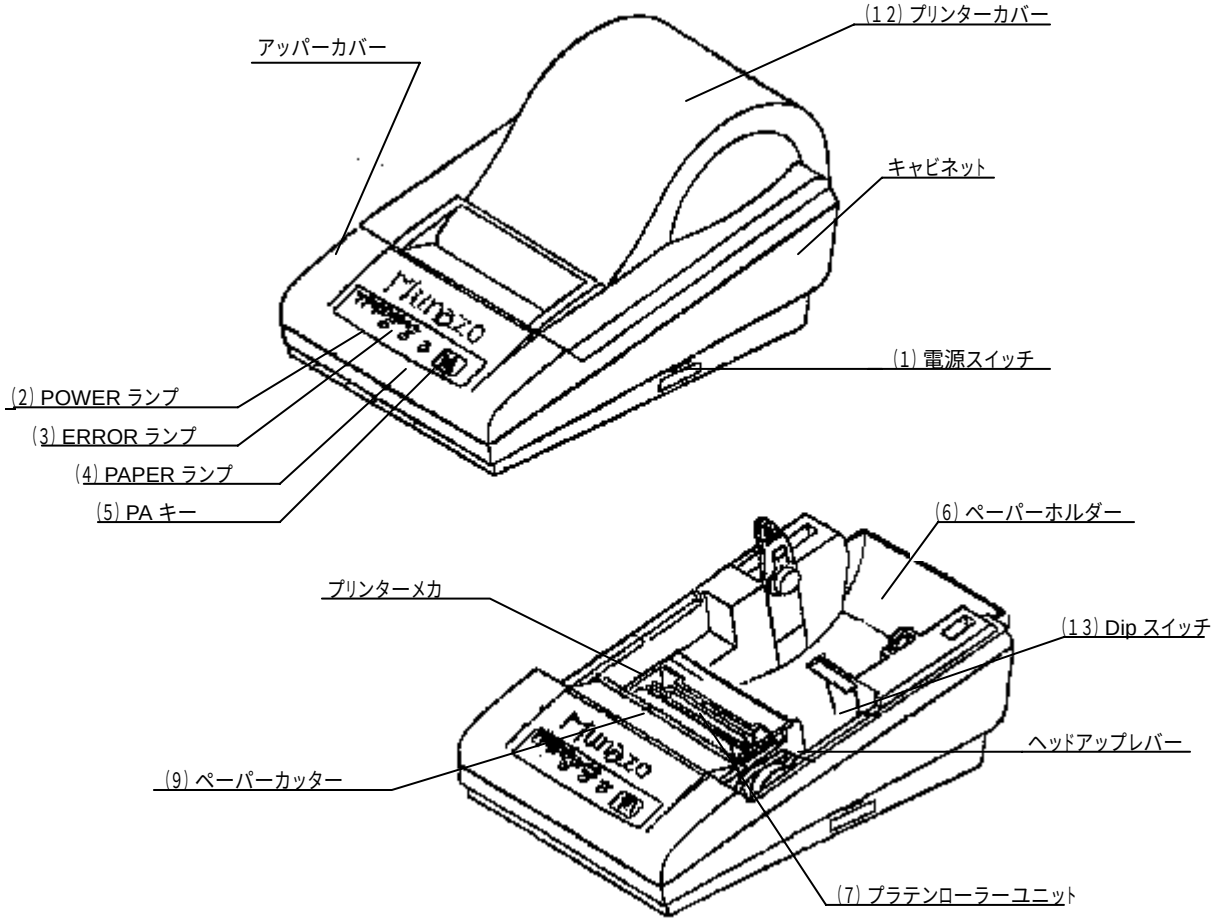
ケースからﾌﾟﾘﾝﾀｰを取り出す際、次の製品が含まれていることをご確認ください。

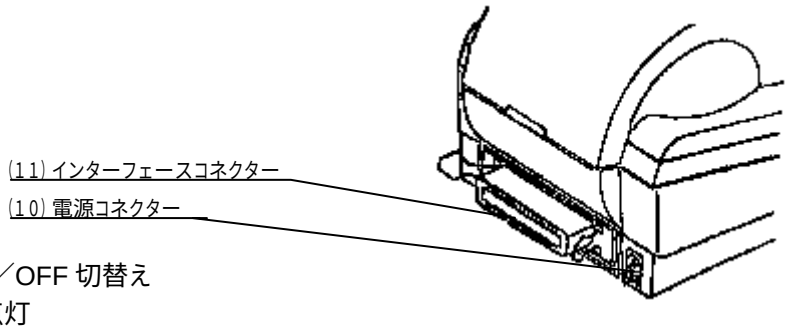
□	TP４０Ammonite サーマルﾌﾟﾘﾝﾀｰ本体
□	AC アダプター、電源ｺｰﾄﾞ
□	インターフェースケーブル
□	ロールペーパー1巻
□ □	TP４０取扱説明書

日付　　/　　/

担当

1．3 外観及び各部名称





① 電源スイッチ　本体電源の ON／OFF 切替え
② POWER ランプ　電源 ON 時点灯
③ ERROR ランプ　メカエラー・ヘッドアップ時に点灯
④ PAPER ランプ　用紙が切れると点灯
⑤ PA キー　ペーパーアドバンスキー
⑥ ペーパーホルダー
⑦ プラテンローラーユニット　紙ジャム、ヘッドクリーニング時に取り外します。
⑧ ヘッドアップレバー　用紙交換時、プラテンローラーユニット脱着時等に使用します。
⑨ ペーパーカッター
⑩ 電源コネクター
⑪ インターフェースコネクター
⑫ プリンターカバー
⑬ DIP スイッチ

1．4 仕様

電源電圧： AC１００V±１０%、５０／６０Hz、DC7V、2A
最大消費電力： ２０W
ﾌﾟﾘﾝﾄ方式： ダイレクﾄサーマル
解像度： ２０３dpi（8ﾄﾞｯﾄ／mm）
印字速度： ２０mm／秒
最大印字幅： ４８mm
ロール紙幅： ５８mm
最大ロール紙直径： ６０mm
印字可能種： 文字等
ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ： RS２３２／TTL Cash Drawer Driver
外形寸法： １０６mm（幅）×１８４mm（奥行）×１１０mm（高さ）
重量： 約1kg

2. ご使用前の注意事項

故障したら使わない

- 本体、AC アダプターなどの動作がおかしくなったり破損した場合は、すぐに当社に修理をご依頼ください。

以上がおきたら

- 万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態にきづいたときは、AC アダプターをコンセントから抜き、電池などをはずしてから当社に修理を依頼してください。異常な状態で使用を続けますと火災・感電の原因となります。

AC アダプター及びその他ケーブルの取扱いについて

- AC アダプターを抜くときは、コードを引っ張らないで下さい。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- コンセントへの差込みがゆるかったりぐらついていたり、プラグやコードが熱いときはを使用を中止してください。そのままの使用は火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で AC アダプターを抜き差ししないで下さい。感電の原因になることがあります。
- 付属以外の AC アダプターの使用は厳禁です。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工をしないで下さい。また重い物を乗せたり加熱したり、引っ張ったりするとコードが破損し、火災・感電の原因となります。

キャビネットは絶対に開けない

- この製品の制御基盤等が収納されているキャビネットは開けないで下さい。内部の点検・調整修理は当社にご依頼ください。また製品を改造しないでください。火災・感電の原因になります。
  キャビネットを開けた場合には、製品保証が無効となります。

その他の注意事項

- お客様または、第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって被った損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

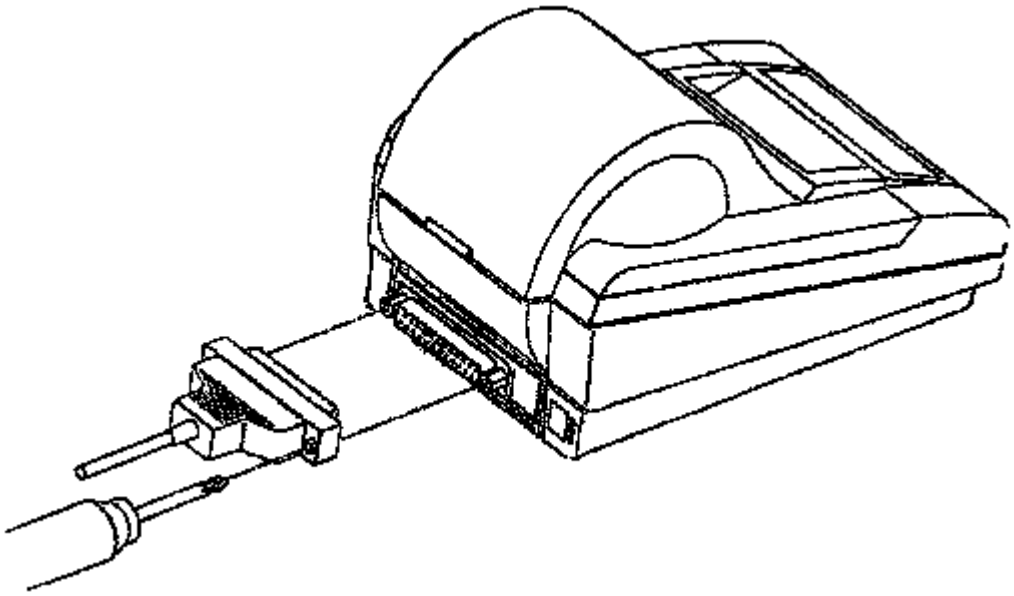
3. 操作方法

ステップ1

インターフェースケーブル及び電源コード接続

インターフェースケーブル接続

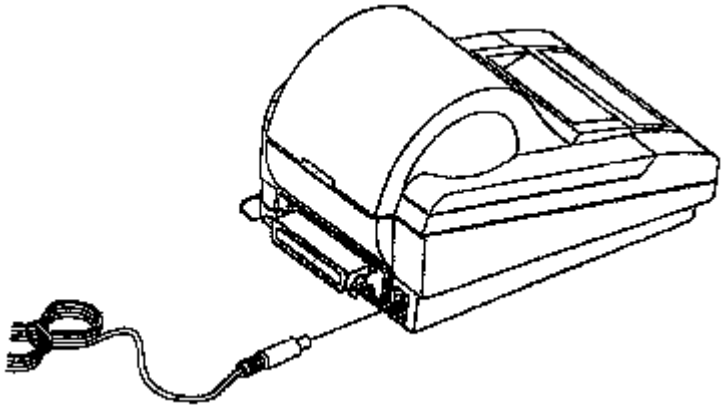
1. 本体電源を切ってください。
2. インターフェースケーブル端子 D サブ25ピンコネクターの上下を確認して、本体背面にある D サブ25ピンメスコネクターに接続してください。
3. 接続後、手でコネクター両脇にある固定ネジを締めてコネクターをプリンター本体に固定してください。
4. インターフェースケーブルの反対側のピンジャック端子をインスペクターの差込み口に差込みます。



ステップ2

AC 電源コード接続

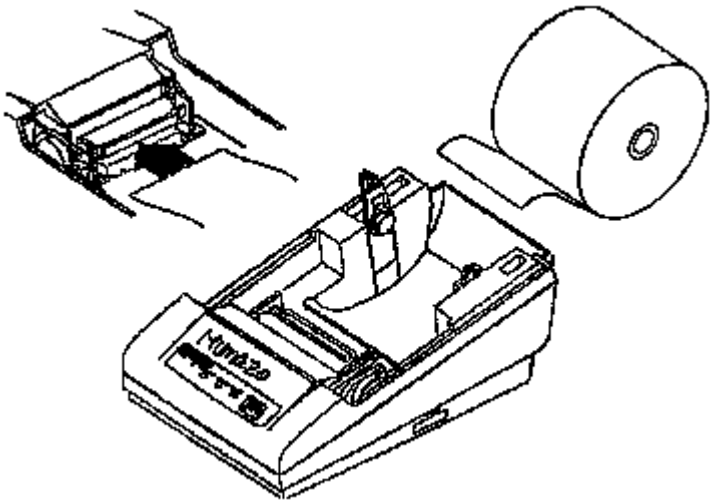
1. プリンター本体の電源が OFF になっていることを確認してください。
2. AC アダプターのケーブルコネクターをプリンター背面の電源コネクターに差し込んで下さい。
3. AC アダプターの AC 電源コードを接続し、AC 電源コードのプラグをコンセントに差し込んで下さい。



スッテプ3

ロール紙セット

1. プリンターカバー後方の凸部に手を掛け、上下方向に上げてください。
2. ロール紙の先端をほぼ直角に切ってください。
3. プリンターの電源が入っていることを確認してください。
4. ヘッドアップレバーを手前に引いてヘッドアップしてください。



5．用紙切れで残存紙が残っている場合は、次の方法で取り除いてください。

残存紙除去方法

① プリンターカバーを取り外し、ヘッドアップレバーを上げてください。

② 用紙を静かに手前に引いてください。
ヘッドアップレバーをさげたままでの用紙の除去や逆方向への用紙の引き抜きは絶対しないで下さい。
故障の原因になります。

ペーパージャムの除去

(1) 電源を切ってください。

(2) プリンターカバーを取り外して下さい。

(3) ロール紙を用紙差込口付近で切り離してください。

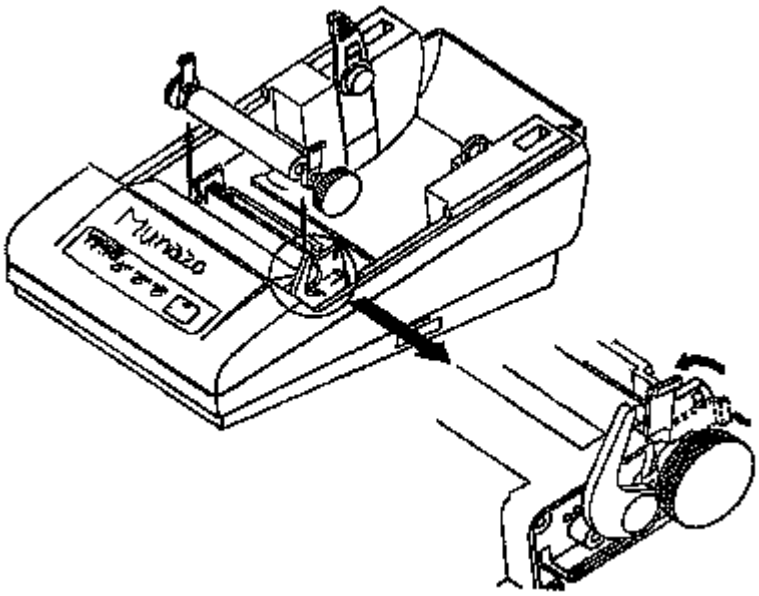
(4) ヘッドアップレバーを上げてください。

(5) プラテンローラユニットの両側にある青いレバーを外側に開きながら上に上げ、静かにユニットを取り外して下さい。青いレバーを手でもちあげるとプラテンローラーユニットが外れます。

(6) 通路に残ったロール紙を完全に除去してください。

(7) プラテンローラーユニットの方向を確認してメカに正しく取り付けてください。両サイドの青いレバーを倒し固定してください。

(8) ヘッドアップレバーを下げてください。



6．ロール紙の先端を挿入口にまっすぐ差し込んでください。

7．ロール紙の芯穴をペーパーホルダーにしっかり取り付けてください。

8．ヘッドアップレバーを戻し、PA キーを押して紙送りを行ってください。

9．プリンターカバーを取り付けます。

ステップ4

プリンターの選択
TP40Ammonite プリンターを使用する場合
TP40Ammonite プリンターをインスペクターシリーズ（レーザインスペクター、インスペクター2000等）と組合せる場合には、インスペクター側のセットアップメニューで下記プリンター名のいずれかを選択してください。

TP-40

Standard TP-32

Companion

〔ご注意〕
但し、**Companion**、**TP-40** との接続の場合には、プリンター本体 Dip スイッチ IK2番は **ON**。
Stndard TP-32の場合には、**OFF** に設定されていなければなりません。

ロール紙のご請求
記録紙のご発注は、当社営業担当までお願いします。
TP40感熱ロール紙（58mm×50M）型番は CDB002です。